

# 学術集会開催規程

(目的)

第1条 本規程は、本協会の学術集会の開催に関する事項について規定することを目的とする。

(広報)

第2条 本協会の学術集会は、規模に応じてチラシ・ポスター・案内等適切な手段を用いて広報する。

又、本協会のホームページに募集要項等を掲載する。

(学術集会の種類)

第3条 本協会の学術集会は、次の4種類とする。

- (1) 学術集会（正式呼称を「日本精神科看護学術集会」とする）
- (2) 専門学術集会（正式呼称を「日本精神科看護専門学術集会」とする）
- (3) 支部学術集会（正式呼称を「〇〇支部学術集会」とする）
- (4) 数支部が集まって開催するブロック学術集会（呼称はそれぞれとする）

(開催地の総会報告)

第4条 学術集会及び専門学術集会の開催地は、理事会が開催前年度の社員総会（以下「総会」という。）

迄に決定し、総会に報告する。

(学術集会及び専門学術集会の開催場所及び日時の決定)

第5条 学術集会及び専門学術集会の開催場所及び日時は、理事会が決定する。

- 2 前項の決定を理事会が行う際は、総会と学術集会の日時が重ならないように注意しなければならない。

(学術集会及び専門学術集会のプログラムの企画)

第6条 学術集会及び専門学術集会のプログラムの企画は教育認定委員会が立案し、理事会の承認を得ることとする。

(学術集会及び専門学術集会の開催準備、運営)

第7条 学術集会及び専門学術集会のプログラムの企画以外の開催準備、運営は、当該業務を担当する責任者に任じられた業務執行理事が学会長を任命し、学術集会実行委員会を組織して行う。学術集会実行委員は、責任者に任じられた業務執行理事が任命する。

(学術集会及び専門学術集会の開催への支部の協力)

第8条 学会長は、学術集会及び専門学術集会の当日運営について支部に協力を求めることができる。

協力を了承した支部から派遣された要員は、責任者に任じられた業務執行理事の指示に従い、委任された業務を執行する。

(支部学術集会、ブロック学術集会開催の事業計画)

第9条 支部学術集会、ブロック学術集会を開催しようとする支部は、開催前年度の理事会に事業計画書を提出して承認を得なければならない。ブロック学術集会については、ブロックの支部長連名で事業計画書を提出しなければならない。

2 前項の事業計画書に記載するプログラムについては、提出時点で決定している、ないしは予定している事項でよいものとする。

(支部学術集会、ブロック学術集会のプログラムの企画)

第10条 支部学術集会のプログラムの企画は、開催支部の支部長が中心となつて行う。又、ブロック学術集会のプログラムの企画は、共催する支部の協議により作成責任者を任命して行う。作成された支部学術集会及びブロック学術集会のプログラム案は、教育認定委員会に提出して了承を得なければならない。

2 前項の了承を得るに間に合わない事項は決定し次第、協会の教育担当者に伝え、その情報を教育認定委員に伝えるものとする。

3 前項の情報を伝えられた教育認定委員は、必要に応じて意見交換やプログラムの変更の検討を要請することができる。

(支部学術集会、ブロック学術集会の開催準備、運営)

第11条 支部学術集会、ブロック学術集会のプログラムの企画以外の開催準備と運営は、実施する支部の責任において行う。

(学術集会付随の学術誌の刊行)

第12条 学術集会に付随して学術誌を刊行する場合は、論文の募集、作成指導、査読、学術誌へ掲載する論文の選考にあたり、学術集会としての性格を損なわないようにしなければならない。

第13条 本規程は、理事会の承認を得なければならない。

附 則 本規程は、平成 23 年 6 月 18 日より施行する。ただし平成 23 年度の学術集会の名称等については、従来の学会名称を名乗って開催することとする。

平成 24 年 2 月 4 日一部改正

平成 25 年 9 月 21 日一部改正

平成 28 年 3 月 26 日一部改正